

# 『地域・農村環境にあなたの目を』

組織名 みわ環境保全チーム

位置：岩国市美和町 対象面積：7ha

## ◆ 地域の現状等

当地域は、古代より「生見川」と「渋前川」のほとりに稲作が延々と続けられてきました。平成18年には圃場整備も完了しましたが、完備された水田の荒廃があちこちに現れ始めました。過疎化、高齢化、更に鳥獣被害と地域の深刻な課題となりました。そこで19年度より町内11地区がチームを組み、この制度を活用することで地域の各組織と連携して環境保全に取り組んでおります。

## ◆ 活動内容等

チームはそれぞれの地区で農業者、自治会、水利組合等が独自の企画運営を行っています。河川の利用が困難でため池を管理する地区もあり活動内容は様々です。景観形成活動は年度毎実施地区の希望調査をして決定しています。「ため池周辺に八重さくらを植える」「川沿いにしだれ桜を植える」などそれぞれ地区の発想で決まります。農村環境向上活動は着実に進行しています。



## ◆ 効果

過疎、高齢化現象の波が迫る中、誰もが「何とかしなければ」と思っている間に山際から荒廃地が現れ始めた頃、当チームを設立しました。活動を重ねるうち地域住民の環境に対する意識は向上してきました。各地区の共同活動は地域の力となり荒廃地の広がりをしっかりと食い止めています。

## ◆ 将来の展望

故郷の農村自然環境、食の安心・安全はそこに住む構成員の宝であると考えます。先人の残した貴重な農村文化(稲作や当地の食文化)の質を高めて次世代に引き継がなければなりません。この対策を有効に活用し、共同して行う草刈作業、景観形成活動、楽しく語り合う集会活動を通じて皆で住み心地の良い農村環境の構築を目指し活動したいと思っています。

# 住んで佳し<sup>よ</sup> 訪れて好し<sup>おとずれてよ</sup>の向峠<sup>むかたお</sup>

組織名 むかたおかんきょうほぜんたい  
向峠環境保全隊

位置：岩国市錦町向峠 対象面積：37ha

## ◆ 地域の現状等

当環境保全隊は岩国市内では最北に位置し、西を島根県に接する400mの洪積層に属し河川争奪によって高台となった50haの土地であり、この土地へ導水するため約6km水路を天保15年から作り始めこの水路を中心に住民の生活が行われた。

## ◆ 活動内容等

向峠には向峠土地改良区、向峠環境保全隊、集落営農むかたおがあり、それぞれの機能は水路の維持管理、環境整備、営農活動であって、それぞれの持場で活動し、灌漑用水の整備、基盤整備、上水、下水の確保等、住民の住み良い環境作りを目指して活動している。



## ◆ 効果

向峠に入るとなつかしいと感じてもらえるような環境を保つため、集落内の公共施設は月1回、旧向峠小学校は週2回の清掃を行い、各戸への進入路や水田への農道として4mの舗装道路を整備することを目標に頑張っている。この様に農村環境の向上に努めている結果、旧向峠小学校が広域定時制、松陰高等学校として平成23年1月1日よりスタートすることになった。

## ◆ 将来の展望

高等学校がスタートした現在、農村体験できる環境作りや、向峠に在る中国自動車道深谷パーキングへ、自動車の乗り入れが出来る様に関係機関に要望し、将来はいやしの出来る滞在形の施設共同経営にも取組む夢がある。

# 引き継ぐふるさと

組織名 う さ かんきようほぜんたい  
宇佐環境保全隊

位置：岩国市錦町宇佐 対象面積：21ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は、山口県の東北部に位置し、西は島根県、東は広島県に接して、県下で最も標高の高い地域である。圃場整備は昭和50年代に約80%完成し、一時はハウレンソウを20ha 栽培して農地の維持管理に努めていました。平成12年度より、中山間地域直接支払制度に取り組み、大型機械の導入等により農地の維持管理を行っていますが、一方では高齢化により農地維持管理していくことは不安な現状となっています。

## ◆ 活動内容等

地域内は、5集落の自治会が中心となり25名の構成員で、維持管理に取り組んでいます。内容としては、遊休農地発生防止のための保全管理、水路の管理、農道の管理、法面の草刈、異常気象等の見回り、景観形成のための水仙等の植栽を実施しています。

## ◆ 効果

以前は、各個人で行ってきたことが組織として集団で活動することにより作業効率の向上と、今まで手の届かなかった所までの範囲を拡大することが出来るようになりました。また、地域全体で、農地、景観、環境を保全していく意識が高まっています。

## ◆ 将来の展望

今後、少子高齢化は避けることが出来ない現実があり、この対策を維持、向上していくには非常に困難であるといえます。しかし、国の農業に対する取組み、方針が変わることにより、若者等の後継者が増えると期待されます。





# 「集落の力」を未来へつなごう

組織名 かまがはらかんきょうほぜん  
釜ヶ原環境保全チーム

位置： 岩国市美和町 対象面積： 18ha

## ◆ 地域の現状等

釜ヶ原地区は、12年かけ平成13年度に団体営圃場整備事業として完成した集落です。しかしながら、現在では高齢化、過疎化が一段と進み、地域の人口は減少する一方で増える事はありません。こうした中で、平成20年度よりこの対策を利用して農家、非農家を含めて連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

## ◆ 活動内容等

釜ヶ原地区は小瀬川水系を主体に管理し、営農組合が主体となって農地を管理している現状です。又自治会が地域の環境、美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。

## ◆ 効果

この事業に取り組んだ時は、役員だけの参加になるのではと思いましたが、自治会、婦人会、子供達が参加してくれ、地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まったのではないかと考えています。この事業も4年目となりましたが小さな集落の地域住民の環境を大切に実施していくなど効果が得られています。

## ◆ 将来の展望

今後、この対策を更に実施していくことにより、小さな集落の団結力を持って農村の食の安心、安全及び環境整備に努めて明るい集落を築きあげてゆきたいと思っています。



# 「住みたくなる集落」を目指す！

組織名 あ か かんきょうほぜん 阿賀環境保全チーム

位置：岩国市美和町 対象面積：23ha

## ◆ 地域の現状等

平成11年に基盤整備が終わり平成12年度から中山間地域等直接支払制度に取組み農業生産活動を推進してきました。

一方、中山間地域共通の高齢化・過疎化の進行が地域に暗い影をおとしていた当地区で、事業の説明があり平成20年より着手し、地域住民と一体となった活動を展開しています。

## ◆ 活動内容等

地域内4集落の水田23haの耕地に関係ある水路・農道を管理しています。

活動は、阿賀営農組合が中心となり農業者と連携して農地・水向上対策に取り組んでいます。

地域の環境保全については、営農組合婦人部・自治会・婦人会が農地や農道法面にアジサイ等を植栽、農地にナタネ播種等を実施しています。



## ◆ 効果

地域内の農道については、平成12年度当時は未舗装で管理等に労力を要していましたが、当制度や中山間地域等直接支払制度により地域内農道のほとんどの舗装を終了し管理が省力化し喜んでいます。水路については、基盤整理後の年数とともに漏水や施設の地盤沈下等により下流部では、水不足の状況がありましたが制度のおかげで補修することができ安心して生産活動が出来るようになりました。また、集落内あげて交流の機会ができたことで地域の連帯感が生まれたことは大きな効果といえます。

## ◆ 将来の展望

10年後には80歳以上の年齢割合が38%に増加すると見込まれています。

一方担い手も減少してくることが予想されますが、本制度により連帯感も生まれ共同作業を通じて地域を担う後継者が出てくることを期待しており、当面、菜の花やアジサイ等を植栽し、管理する等、潤いのある生活環境整備に取り組むことにより「住みたくなる」集落形成を目指しています。

# 安心して次世代へ継ぐ 地域活動

組織名 天兼環境保全チーム

位置：岩国市周東町祖生 対象面積：9.77ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は玖西盆地の南端に位置し、島田川の上流にあつて清廉な四割川の恵みを受けた水田地帯が広がっている。

平成7年に圃場整備事業を終え、その後、開水路については集落で共同作業を行ってきた、本事業を導入したことにより、更なる共同活動を進めている。

## ◆ 活動内容等

### ① 農業用地保全活動

農業者・自治会・婦人部が中心となり、向上活動を実施している。

### ② 景観形成・生活環境保全活動

長寿会・子ども会も加わり、地域の美化活動・花の植栽を行っている。



## ◆ 効果

(1) 遊休農地が荒廃寸前だったが本事業を導入したことにより、きれいに整備された。

(2) 植栽により集会所周辺が美化された。

(3) 集落の連帯感が生まれ、環境を守っていこうとする意識が高まった。



## ◆ 将来の展望

農業従事者の高齢化は避けることの出来ない現実ではありますが、地域で引き継がれてきた知恵や技術の継承を図りながら、次世代に安心してつながる活動を展開していきたい。





# 伝説と石楠花の里を守る！

組織名 ふたしかあいきょうかい  
二鹿愛郷会

位置：岩国市二鹿 対象面積：10.01ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は、「梅津中将と双頭の鹿」の二鹿伝説、天然記念物である石楠花、市の総合スポーツ施設である「野外活動センター」を有し、集落全体が総合自然公園の様相をなしている。この美しい景観を守るべく、人口減少と高齢化という難問を抱えながら、集落一段となって、「農・水・環・保全向上活動」に取り組んでいるところです。



## ◆ 活動内容等

開水路が多岐多数にわたり、保全に労力を必要としている現状、その長期保全対策として、水路壁面の補強、不動沈下防止、耕畔補強等、農道の整備と併せ力を注いでいます。また、(花と緑の美しい村、ゴミのない笑顔の村)を一方のスローガンとし、来村される方々に喜んでいただけるよう、草花の植栽、集落の清掃作業と環境美化に取り組んでいます。



## ◆ 効果

「年寄りには、草刈や水路の泥上げは気が重く大変だ。でも、一人よりは二人、二人より三人。共同作業となれば、気も楽、体も楽、精がよい。」そんな声が聞こえてくるようになりました。また、農道や水路の整備を目の当たりにし、きれいになったと評価をいただき、共同作業への参加者も増え、全員参加の形となっています。

## ◆ 将来の展望

二鹿愛郷会としては、活動2年目を終えたところであり、道半ばではありますが、農道の整備、水路の補強、異常気象後の応急対策と確実にその実績を積み、さらに環境の美化へと展開を図っているところでもあります。ただ、高齢化と人口減少という難問に直面している現状「何処までがんばれるか」と話し合っているところです。

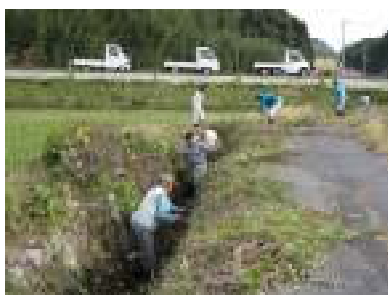
# 「地域の絆」で守ろう農地！

組織名 天神原保全会

位置：岩国市由宇町 対象面積：10.4ha

## ・ 地域の現状

当地区は、由宇川上流に位置し、由宇川を水源とする平坦な水田地帯です。十数年前までは、岩国レンコンの栽培が盛んに行なわれていましたが、連作障害や腐敗病などの影響により、現在では主に米作が行なわれています。しかしながら、当地区においても高齢化や後継者不足が深刻な課題であり、農地の荒廃や農業用施設の維持管理が危惧されているところです。そこで、平成21年度よりこの事業を有効に利用して、農家・非農家などと連携をとりながら、地域が一体となって農地保全に取り組んでいます。



## ・ 活動内容等

天神原水利組合を主体に水路や農道の維持管理を行なうとともに、荒廃が予想される農地においては利用権設定の促進を図っています。また、自治会や婦人会、子ども会などと連携しながら、地域の環境・美化活動にも取り組んでいます。

## ・ 効果

高齢化や担い手不足が進行する中、地域が一体となって行なう作業が難しくなっている状況でしたが、この事業を契機に農地の保全や環境整備への関心も高まりつつあります。設立時には、一部の人たちの参加だけになるのではと懸念しましたが、年2回実施しています共同作業には、多くの会員はもとより婦人会、自治会の方たちの参加により、充実した活動が行なわれています。

## ・ 将来の展望

この事業の取り組みも今年で3年目を迎えます。まずは、今行なっている作業を着実に継続していくことに傾注していきたいと思えます。そのことにより地域の絆を深め、次世代に地域の環境美化と優良農地を引き継ぐことを目的として、地域全体で取り組んでいければと思っています。



# 繋げよう、こぶしの里の環境を



組織名 あきがけ保全会

位置：岩国市美和町秋掛

対象面積：8.7ha

## ◆地域の現状

当地区は、昭和62年度に農業構造改善事業で圃場整備を完了し、稲作を中心に耕作してきたが、現在、過疎・高齢化が一段と進み、農作業の受託が増え、農地周辺の草刈作業などが農家の負担となっていた。そこで、平成21年度よりこの事業に取り組み、農家と非農家の協力体制ができつつあり、農地や周辺の環境保全に取り組んでいます。



## ◆活動内容等

当会が、農道や水路の管理を主体的に行い、農作業受託組合が農地の管理に取り組むことにより、現在までに農地の荒廃は見られない。また、婦人会や二代木会などが道路周辺に花の植え付けをするなど環境美化に努め集落の環境活動を実施しています。



## ◆効果

当初は、「役員のみでの活動になる」との意見もあり懸念していましたが、1年目より2年目といった状態で、非農家や婦人会、二代木会など多くの方々が趣旨に賛同し、農地の管理はもちろん農地周辺や水路の草刈りなどで集落の環境美化に取り組むことができ、高齢化の集落ではあるが集落の環境保全には関心が高まっており効果は得られています。



## ◆将来の展望

今後、この事業を有効活用し、農道や水路の簡易な補修を行い、将来にわたり後継者が安易に農業後継できるような仕組みづくりをするとともに、農地の荒廃が発生しないような集落の維持、そして地域の環境美化活動に努めていきたいと思えます。



# 一致団結環境保全

組織名 おおさぶろうのうすいほぜん  
大三郎農水保全チーム

位置：大三郎集落一円 対象面積：6.8ha



## ◆地域の現状等

本地域は、圃場整備により大半の農地の整備が行き届き保全活動は関係農家により行われてきた。

しかし、将来にわたる保全に関しては高齢化に伴い草刈り等が放棄されることが懸念されることから、平成21年度よりこの対策を有効に利用して、農家・非農家を含めた全員参加により、地域全体における景観を維持し快適な住環境の保全に取り組んでいる。

## ◆活動内容等

農家・非農家・老人クラブが、年間の活動予定に示された活動に向け環境美化に努める等、環境保全向上活動を実施している。

## ◆効果

本対策加入前においても、地区清掃の一環で草刈等は実施していたところであるが、向上対策加入後は環境美化の一環として花の植栽等で女性の活動の場が増え、農家・非農家を含め地域全体に農地を守るという意識の関心が高まった。

## ◆将来の展望

自分たちの地域は自分達で守るという目標のもと本施策を継続し耕作放棄地の絶滅に努め、花の植栽等景観に配慮した農村地帯の構築を目指す活動に努める所存である。

# 「みんなの力」で地域の絆と活性化を！

しげむねほぜんかい

組織名 重宗保全会

位置：岩国市周東町祖生 対象面積：4.1ha

## ◆ 地域の現状等

当地域は平成 15 年度に県営圃場整備が完了した地域です。  
現在、高齢化、過疎化が進み、地域の深刻な課題となっています。  
そこで、取り組みが遅れてしまいましたが、平成 22 年度から小規模ながら、この対策を有効に活用して、農家、非農家を含め、連携をとりながら地域保全に取り組んでいます。

## ◆ 活動内容等

尾花堰講組織が、島田川水系からの利水管理をしています。これと連携して、地域の農業者や自治会住民等が参加して、地域の環境を守り、美化を推進するため農村環境向上活動を実施しています。

## ◆ 効果

小規模なので、活動が活発化しないのではないかと懸念していましたが、小規模で構成人員が少ない分、情報伝達はスムーズで総会等の集会をはじめ共同作業も、全員参加に近く、活発で危惧されていた高齢化と過疎化による地域の活性化による地域の絆も徐々に強まり、環境も整備され地域の活性化に大いに寄与しています。

## ◆ 将来の展望

今後、活動内容を発展的に展開して行くにあたり、世代を超えた多様な構成員が更に融和し、心豊かとなり、地域の活性化が推し進められる活動となるよう取り組んでいきたいと思っています。  
また、地域が国道437号線のバイパスをはさんで広がっており、現在、国体開催に協賛して実施しているマンジュシャゲその他の草花の植栽を更に進め環境美化活動にも一層取り組み、多くの人々にその景観を楽しんでもらいたいと思っています。





# 協働の力で地域を活性化しよう

組織名 しもそおだいにかんちくしげんほぜんかつどうそしき  
下祖生第二換地区資源保全活動組織

位置：岩国市周東町祖生 対象面積：34.65ha

## ◆地域の現状等

当地区は、平成10年度に県営圃場整備事業が完了した地域です。

しかしながら現状は少子、高齢化、過疎化が進展し、私達の深刻な課題であります。そんな時県よりこの対策のモデル地域として、平成18年度に指定を受け、平成19年度より本格指定地域になり、農家はもちろん、非農家を含め、子供会、自治会等の各組織と連携をとりながら、地域の環境保全に取り組んでいます。

## ◆活動内容

水系、水利組合は現在二つとなっていますが、当初は島田川水系一つの地域で発足しました。平成20年に四割川水系も加わり、農地の管理、営農が行われるなど、それぞれ連携して、農地水向上活動を実施しています。

その主要活動の中心は、「協働」の精神であります。

又、自治会、子供会、水利組合が、地域の美化、環境を守るため農村環境向上活動を実施しています。



## ◆効果

当初は、全員参加はむつかしいのではないかと懸念していましたが、小学校の子供達に加え、自治会や非農家など、多数の方々が参加して、協働の効果が育ちつつありますが、高齢化、少子化は、さけて通れず、一番の課題となっています。しかし、地域全体で環境を守っていこうとする意識や、地域環境への関心が高まってきているのではないかと考えております。この対策も5年目となり、地域住民の環境に対する意識は、かなり向上しており、子供達も水、環境の大切さを関係者から学ぶなど、効果は得られていると思います。又、広域で、NPO法人の立ち上げも行われ、期待しているところです。



## ◆将来の展望

今後、この対策を更に発展的に展開していくためには、高齢化、少子化の進展をうけて、「世帯を超えて、多様な構成員同士が、協働の精神で、地域の環境保全について話し合い、活性化」できればと考えています。本対策以前から実施している住民全員による水路の泥上げも今後継続して実施できるよう努力すると共に、地域の環境保全の一環として、菜種花による景観づくりを継続して、活動できたらと思っています。又、未整備の営農組合の設立も今後の大きな目標であります。一番の気がかりは、お世話をする人の後継者対策です。

# 地域農業を守る協同体制づくり



組織名 上祖生環境保全隊

位置： 岩国市周東町 対象面積： 80ha

## □ 地域の現状

島田川上流に位置し周辺を山で囲まれ、平成 11 年圃場整備事業が終了した地区です。高齢化は進み農業従事者は減少し、鳥獣被害も年々増し農業の継続は年々困難さを増しています。農業を取り巻く環境は年々厳しくなっている状況の中で、本事業の指定を受け地域全体で自分たちの地域を守る機運が高まりつつあります。

## □ 活動内容

古くから水管理組合は地区内 5 つの水利組合を中心に行われており、農地管理は国の事業による担い手を軸に遊休地を無くすべく農地管理を行っています。水土里ネット事業(農地・水路・農道の管理・保全)を受け地域一体となって環境保全、環境美化に取り組む体制づくりをすすめ実践活動を展開しています。



## □ 効果

水土里ネットの事業を活用した農地、用水路、農道の保守管理は初期段階で早急に実施でき被害拡大の防止に役立ち、また個人では対応の困難な改修も重機を使って容易にできるようになり重労働は軽減されました。鳥獣被害防止策として防護柵、猪罠の設置を行い効果を上げています。共同作業は地区を越えて協力し合う体制ができつつあり、人的つながりも深まり活動範囲が広がりました。



## □ 将来展望

住民は生まれ育った地域への愛着が強く農業を生きがいとする人は多くおられます。先輩の思いを受け止め、本事業を自分たちの生活の場の環境づくりと捉え、広域的視野で協力体制を一層高め地域住民一体となって美しい田園風景をいつまでも残していきたいと思っています。

# 地域の源は輪＝和

組織名 ひらばた  
平畑みどりネット

位置：岩国市周東祖生平畑 対象面積： 32.73 h a

## ◆ 地域の現状等

東に高照寺山が見下しその頂上より舞い降りるハングライダー。その飛び交う光景は恰も秋口のトンボが飛ぶ如きである。その舞い降りる地が平畑みどりネットの地域である。圃場整備も平成14年度に終り換地されています。



## ◆ 活動内容等

当地域は殆どが農家であり、自治会やその他の組織をもって活動おり、耕作放棄地はありません。活動の内容としては、水路、農道の補修・修理又環境整備では景観形成等である。すべては此れも一重に皆の理解と協力であり一つの輪であると思う。

## ◆ 効果

みどりネットも19年度に始まり5年目になろうとしています。最初はわからず手探りで雲を掴むようで毎日が日進月歩であったと思われる。しかし住めば都と言うが男女老若を問わず意識の向上と地域への関心が芽生え自分らの地域は自分らで守り維持して行こうという、考える一つの輪が出来たと思う。



## ◆ 将来の展望

これから先、役員はもとより地域自治会、子供会と連絡をとり、景観形成に取り組んで行きたいと思う。地域としては、この制度を生し無にすることなく活動し地域の輪を生み出していきたいと思う。輪があれば輪＝和になると思われる。





# 明日へつなぐ農地・水・環境対策！

組織名 ながたかんきょうほぜん  
長田環境保全チーム

位置： 山口県岩国市由宇町 対象面積： 7.1ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は岩国市由宇町の西端で由宇川支流の長田川が流れる盆地に位置する。以前から、当地区では共同作業で地域環境の整備を行っていたが、本活動によりさらに広い範囲での景観形成や水質保全の取り組みを深め、清流長田川と静かな田園風景がもたらす安らぎの里づくりに取り組んでいます。

## ◆ 活動内容等

### 1 景観形成・生活環境保全

子ども会や老人クラブと連携して農道や公共施設への景観作物の植栽、施設等の定期的な巡回点検・草刈り清掃活動を実施しています。

### 2 水質保全

代かき等、水田に排水止水板を設置し濁水の流出を防止します。



## ◆ 効果

取組前はいたる所に雑草が生い茂った状態でしたが取組後の現在は、農道、バス停、集会所周辺等が景観作物植付により、見違える程良くなり地域住民の感心の高まりを感じています。



## ◆ 将来の展望

景観形成・水路泥上げ草刈り、水質保全等共同作業を維持して行ない、地域の活力を出し未来へつなぐ心豊かな集落にしたいと思っています。

